



大分県速見郡日出町における系統用蓄電池事業への出資参画に関するお知らせ

伊藤忠エネクス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:田畑 信幸、以下「当社」)は、このたび、大分県速見郡日出町において計画されている特別高圧の系統用蓄電池事業(定格出力:51MW、定格容量204MWh、以下「本事業」)へ参画するため、本事業を推進する特別目的会社(SPC)に対し、国内企業 3 社と共に匿名組合出資を行うことを決定しましたので、お知らせいたします。

本事業は、再生可能エネルギーの導入拡大に伴い増加する調整力需要への対応を目的として、系統用蓄電池設備の開発・運営を行うものです。系統用蓄電池は、電力需給バランスの安定化に寄与する重要な役割を担うことから、次世代の電力インフラとして期待されています。なお、当該SPCでは、株式会社あおぞら銀行をアレンジヤーとするプロジェクトファイナンスを組成しており、事業キャッシュフローを返済原資とするノンリコース型の資金調達スキームを採用しております。

本事業への参画を通じて、電力・ユーティリティ分野における事業領域の拡充を図るとともに、これまで培ってきた電力事業に関する知見および需給運用ノウハウを活かし、収益基盤の強化を推進します。

【本匿名組合出資の概要】

対象事業	大分県速見郡日出町における系統用蓄電池事業 (定格出力 51MW、定格容量 204MWh)
営業者	合同会社アルタイル
営業者の事業内容	系統用蓄電池設備の開発・保有・運営
出資金額	8億円
出資比率	14.5% (当社分出資比率)
運転開始 (予定)	2028年9月頃

当社は、今後も再生可能エネルギー関連事業および蓄電池事業への取り組みを通じて、持続可能なエネルギー社会の実現と中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

【本リリースに関するお問い合わせ先】
伊藤忠エネクス株式会社
経営企画部 広報・サステナビリティ推進室
Email:irj@itcenex.com